

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年12月24日 文責:校長 森川 稔



2学期の教育活動終了!

残暑厳しい中での2学期の始まりから早いもので季節は移ろい、いよいよ本日をもって2学期が終了します。地域、保護者の皆様に支えていただきながら、おかげさまをもちまして今学期の教育活動も無事に進めることができました。皆様には、創立150周年記念事業、式典や学習発表会、持久走記録会等の諸行事の円滑な運営に積極的にご協力いただくとともに、本校児童への励ましや称賛を賜り誠にありがとうございました。また生活科や総合的な学習の時間等における地域の方々との交流や地域を学ぶ学習においても、様々な面でご協力をいただき、教育活動の充実を図ることができました。重ねて感謝申し上げます。

様々な行事や体験活動、日々の学習や友達とのふれあいを通じて、子どもたちはそれぞれに、多くの知識や技を身に付け、心も身体もさらに成長することができました。その一端を各担任から『通知表』に込めてお届けいたします。ぜひ、この学期末そして一年の締めくくりにの機会に、各ご家庭におきましてもお子さんの成長を認め励ましていただき、来るべき新年、3学期のさらなる意欲へつなげていただきますようお願いいたします。

子どもたちにとっては楽しみな冬休みがやってきます。また、年末年始の諸行事や風習にふれるよい機会にもなります。本日の終業式では、お正月にちなんだ話をしましたが、その中でもふれたように、家族の一員としての手伝いや役割を与えていただきますとともに、家族でしか学ぶことのできない貴重な体験の場としていただければと思います。

全児童が健康で明るい冬休みを過ごし、3学期の始業式に元気に再会できますことを願っています。どうぞ皆様、よい年をお迎えください。



押し寿司づくりに挑戦

1学期に田植えを行い、2学期に稲刈り、脱穀をして収穫という一連の米作りを体験した5年生ですが、収穫した米を使って押し寿司づくりに挑戦しました。校区内の下亀地区老人会の皆さんにご来校いただき、講師となっただき子どもたちにていねいに教えてくださいました。

ところが結構準備が大変なんです。体験実習は3、4校時(10:30~)でしたが、老人



会の皆さんは朝8時すぎから子どもたちのために米を炊いたり湯を沸かしたり、器具の準備をしたりと動いてくださっていました。しかし、実はその前から隣接する東支館で錦糸玉子や寿司に入れる具材の準備もしていただいていたのでした。子どもたちのために早朝から準備していただいていることが本当にありがたかったです。

さて、いよいよ体験活動が始まります。まずはじめに、安全においしく調理するために、調理師資格を持たれた方から食中毒防止として「迅速」「清潔」「殺菌」というキーワードを教えてくださいました。



いよいよ押し寿司づくりです。手洗いの上、手袋をして、すし飯づくりと、型にはめて押していく作業の流れのお手本を見せてもらいました。簡単そうに見えてなかなか難しそうです。実際に作ってみると、はじめはなかなかうまく押すことができず、お手本のようなきれいな形にならなかったものの、アドバイスを受けながら何度も繰り返しているうちにどんどん上達し、おいしそうな押し寿司が完成しました。

作物を育てて収穫し、調理する、地域の文化に触れるという貴重な体験ができました。田植えから脱穀、そして調理実習と長い期間にわたりご協力ご指導いただいたJA青年部、下亀老人会の皆様のおかげで、楽しくおいしく深い学びができました。ありがとうございました。

ジャーネー先生といっしょ

本校にはALTとして週に2回ジャーネー先生が来校し、主に3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科の授業で担任と一緒に指導していただいています。

先週金曜日は1年生教室にも入っていただいて、楽しい活動を進めてもらいました。準備していたカードをもとにあいさつや自己紹介のしかたについて一緒に発音しながら楽しそうな声が校内に響いていました。



英語でじゃんけんのしかたも覚え、一人一人前に出てジャーネー先生と会話のやりとりを経験しました。外国語に触れる貴重な機会でした。

おめでとう！

今学期も、いろいろなコンクールや社会体育等で活躍した子たちを集会等の場で表彰してきました。表彰後は自分の言葉で感想や次の目標を述べ、学校のテレビでも紹介しています。これからもみんなの活躍を期待します。

その中で一つ紹介します。6年生のK. Tさんが「第74回“社会を明るくする運動”作文コンテスト」で、長崎県の最優秀賞に選ばれ、県の代表として全国審査へと進むことになりました。「みんなが喜ぶためにできること」というタイトルで、1学期にあった市の「少年の主張コンクール」で発表した内容を作文にまとめたものです。大リーグの大谷選手の話も出しながら、自分ができるとして地域のゴミ拾い活動のことを書いた等身大の思い、目標を書いた作品が評価されたことは嬉しいことです。



田平東小HPはこちらから→

